

【部課名： 消防本部警防課 】

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
救急救助事業		救急救助活動の高度化に伴い、職員の人材育成をはじめ、救急救助資機材の整備、救急応急手当等の普及啓発などを実施し、救急救助体制の充実強化を図る。			指標	総計の現状値	R6実績値	救命率向上のため、救命講習等の普及啓発及び通信指令員が通報者（現場に居合わせた人）へ心肺蘇生法などを電話口で口頭指導する取組みを実施した。昨年と比較し、救命講習等の受講者数に大きな差異はないものの、心肺蘇生法実施率が減少した。これは、通報者や現場の状況などにより、口頭指導ができなかった事例の増加が一因と考えている。	救命講習等の普及啓発では、引き続き心肺蘇生法など応急手当の必要性を説明するとともに、HP、SNSなどを活用し、講習受講の促進を実施します。また、心肺蘇生法実施率を向上するため、通信指令員の更なるスキルアップ、映像通報システムの活用など、通報者（現場に居合わせた人）が、安全かつ適切な応急手当が実施できるよう取組む。
総合計画の位置づけ					普通救命講習Ⅰ・Ⅱ、救命実技受講者数	975人	941人		
基本目標	安全・安心を一人ひとりが考えみんなで作くりあげるまち				現場に居合わせた人（バイスタンダー）心肺蘇生法実施率	59%	49%		
個別目標	防火意識と予防救急の意識を持ち命を守る行動ができるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	6,932	(6,932)					
個別目標の方向性	病気やけがを「未然に防ぐ」「悪化させない」など予防救急の普及啓発を行います	R6決算見込額	9,728	(9,728)					
		R7予算額	9,468	(9,468)					